

## 水質検査において実施する検査項目、検査頻度

検査項目	基準値	検査回数
1 一般細菌	1mLの検水で形成される集落数が100以下であること	概ね1ヶ月に1回以上
2 大腸菌	検出されないこと	〃
3 カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.003mg/L 以下であること	概ね3ヶ月に1回以上
4 水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/L 以下であること	〃
5 セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/L 以下であること	〃
6 鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/L 以下であること	〃
7 ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/L 以下であること	〃
8 六価クロム化合物	六価クロムの量に関して0.02mg/L 以下であること	〃
9 亜硝酸態窒素	亜硝酸態窒素の量に関して0.04mg/L以下であること	〃
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01mg/L 以下であること	〃
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L 以下であること	〃
12 フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/L 以下であること	〃
13 ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/L 以下であること	〃
14 四塩化炭素	0.002mg/L 以下であること	〃
15 1,4-ジオキサン	0.05mg/L 以下であること	〃
16 シス-1,2-ジクロロエチレン,トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下であること	〃
17 ジクロロメタン	0.02mg/L 以下であること	〃
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下であること	〃
19 トリクロロエチレン	0.01mg/L 以下であること	〃
20 ベンゼン	0.01mg/L 以下であること	〃
21 塩素酸	0.6mg/L 以下であること	〃
22 クロロ酢酸	0.02mg/L 以下であること	〃
23 クロホルム	0.06mg/L 以下であること	〃
24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L 以下であること	〃
25 ジブromクロロメタン	0.1mg/L 以下であること	〃
26 臭素酸	0.01mg/L 以下であること	〃
27 総トリハロメタン(クロホルム、ジブromクロロメタン、ブromジクロロメタン、及びブromホルムのそれぞれの濃度の総和)	0.1mg/L 以下であること	〃
28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L 以下であること	〃
29 ブromジクロロメタン	0.03mg/L 以下であること	〃
30 ブromホルム	0.09mg/L 以下であること	〃
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L 以下であること	〃
32 亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/L 以下であること	〃
33 アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/L 以下であること	〃
34 鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/L 以下であること	〃
35 銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/L 以下であること	〃
36 ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/L 以下であること	〃
37 マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/L 以下であること	〃
38 塩化物イオン	200mg/L 以下であること	概ね1ヶ月に1回以上
39 カルシウム,マグネシウム等	300mg/L 以下であること	概ね3ヶ月に1回以上
40 蒸発残留物	500mg/L 以下であること	〃
41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L 以下であること	〃
42 (4S, 4aS, 8aR)-オクタヒドロ-4,8a-ジメチルナフタレン-4a(2H)-オール(別名ジオスミン)	0.00001mg/L 以下であること	概ね1ヶ月に1回以上
43 1,2,7,7-テトラメチルピペリジン[2,2,1]ヘプタン-2-オール(別名2-メチルイソホルネオール)	0.00001mg/L 以下であること	〃
44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L 以下であること	概ね3ヶ月に1回以上
45 フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/L 以下であること	〃
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L 以下であること	概ね1ヶ月に1回以上
47 pH値	5.8以上8.6以下であること	〃
48 味	異常でないこと	〃
49 臭気	異常でないこと	〃
50 色度	5度以下であること	〃
51 濁度	2度以下であること	〃